

#08_愛を知って

「その…いつ頃から起きてたかとかは…知らないけど…」

「ここ、出ていこうって思ってさ」

「理由とかは、その…面と向かって言うつもりはないけど…さ」

「わかるでしょ？」

「私みたいなのと、あんたが…一緒にいるのって、正直良くないと思うし…」

「だから…出ていくの。別に1人でも…生きていいけるし」

「…それに、いつ出ていこうが、あんたには関係ないで…」

「んっ…！」

「ん…なんで…」

「なんで、止めてくるの？」

「…なんで…つ、いつも、そんな優しいの…？」

「んっ…ぐっすっ…そんなことされたら…思っちゃうじゃん」

「うう…ずっと一緒にいたいって…思っちゃうじゃん…」

「あんたから…離れられなくなっちゃうじゃんかあ…」

「んっ…いいの？ 一緒にいても？」

「私…あんたに結構迷惑かけると思うよ？」

「あんたを頼って…たくさん甘えちゃうかもよ…？」

「それでも…いいの？」

「バカ…なんでそんなすぐに…答えてくるのよ…」

「…幸せで、死んじゃうよ」

「んっ…ちゅっ…」

「ん…したくなったの…キス」

「あんたに、教えてもらったから…」

「愛を伝えるなら…これが一番だって…ふふつ♡」

「んっ…！ ちゅうつ！ えへへ♡」

「もっと、もっと…しよ…」

「ちゅつ…ちゅう…んちゅう、ちゅぶ、ちゅぶあ♡」

「はあ、はあ…♡ んつ～」

「んちゅう、ちゅぶつ…んつ、れろ…れろ、れろれる…れろちゅう♡」

「れるぶちゅつ…んは、れるれる、れろれりゅう、んうう、れるれる…れろむちゅう♡」

「はあ、はあ…キス…好き♡」

「んちゅう、れるれる、れろむちゅつ…んちゅう、れるれる…はあ、ふう♡」

「れるれる、好き…♡ れるれる…好き♡ んちゅう、れろれりゅ…しゅきい♡」

「もっと…んゆ、れるちゅう…れるれる…れろちゅううう♡ はあ、ふう～♡」

「はあ、はあ…ふう…ん…」

「ねえ…ん、その…もう…欲しいかも」

「挿れて…ほしい…あんたに、たくさん愛してもらいたい…♡」

「んっ…エッチも、したいけど…♡ 繋がってたいって気持ちの方が…大きくて…」

「だから、したいの♡」

「全身で、私を感じて…愛して？ 私も…全身で…伝えるから…」

「好きって気持ちを…あんたに…だから…」

「んっ…ちゅう♡」

「ちゅつ、ちゅう…ちゅぶう♡」

「ふう…ふふ、だから…しよ♡」

「ふう、ふう…」

「ちゅつ…ちゅう♡」

「んっ…ちゅう♡ れるれる…れろちゅう♡ はあ、はあ…♡ れる、れろちゅう♡」

「れる、れる…んちゅう♡ はあ、はあ…♡ んつ♡ れる、ちゅう♡」

「はあ、はあ…ん…ちょっと、待って」

「その、今日は…上も…脱ぐから…さ」

「傷とかあって…少し見苦しいかも…だけど…」

「でも、あんたには見て…おいてほしくて…」

「それも込みで…その…愛してくれたら、嬉しいんだけど」

「ふうふう…嫌なら、言ってね？ 服、着るから…さ」

「んっ…ふう、ふう…」

「こんな…感じなんだけど…」

「ごめん…ね？ やっぱり、傷ばつかで見苦しい…よね」

「んっ…！」

「もう…どこまで優しいのよ…」

「本当…もっと、好きになっちゃうじゃん…」

「んっ…はあ、これ…あんたの体、直接感じられて…気持ちいい…」

「少しだけゴツゴツしてるけど…優しさも感じるっていうか…」

「好き…」

「全部…好き…」

「えへへ…」

「ん…ここもゴツゴツさせてるじゃん？」

「はあ、はあ…今すぐにでも挿れたい、って感じ？」

「んっ…じゃあ、来て♡」

「はあ、はあ…ふう…」

「んっ…この前みたいに、抱っこして感じの挿れ方…してもらってもいい？」

「あれ、好きだから…」

「それに今日はお互い…裸だし？ 前よりも、絶対気持ちいいと思うしさ…」
「ん、だから…お願ひ…」

「ふう、ふう…」
「はあ、はあ…んつ♡ もう、すぐ入りそうじゃん？ んつ♡」

「ん…ちゅう♡」
「はあ、ふう…今日も、たくさん愛して♡」

「んうつ！ んつ、あああああ♡」
「はあ、はあ、んつ♡ んんんつ♡」

「はあ、はあ…ごめん…すぐ…イッちゃった…♡」
「さっき、んつ…1人でしてたし…あんたに…んつ♡ 挿れられて…幸せでえ♡」

「はあ、ふう…んちゅつ…♡ すごく、感じてる♡」
「ああっ！ あんう！ んんつ！ あつ！ あんつ！ ああはつ！ はあう！ んつ！」
「はあっ！ ああっ！ あつ！ ああっ！ んう！ 中…ずんずんって…！」

「あんたの…があつ！ 突いて…んんつ！ あつ！ ああっ！」
「気持ちいい…♡ 気持ちいい…よお♡ んああつ！ あう！ ひやう！ はあつ！ はあつ！」

「んんつ！ んつ！ これ…ダメっ…ああつ！ あつ！ あつ！」
「すぐ…につ…ああつ！ あつ！ あああつ！ イク…！ イッちゃうっ…！ んんんう～っ！」
「んんつ！ んつ！ あつ！ ああああああああつ！」

「はあ、はあ…んんつ！ ダメ…んん、動くの…止めないでっ…！
そのまま…はあ、はあ…ああ…あああつ！ 動いて…えつ♡」
「あんたの…ずっと…んんつ！ 感じて、たい…のお♡ んつ！ ああつ！ ああつ！」

「はあ、はあ…ああつ！ んつ！ また…イクう♡」
「んんつ！ んんんつ！ はあ、んんつ！」

「はあ、はあ、はあ…ふう、んつ！ あつ…んんんつ♡」

「んちゅつ、ちゅう…れろれろ、れるちゅう♡ はふう♡ んちゅつ、ちゅぶ、れるれりゅ…♡」

「はあ♡ はあ♡ んんつ♡ たくさん、イカされちゃった…はあ♡」

「んゅつ！ はあ、んつ…♡ どうしたの、そんな強く抱きしめてきて…んんつ♡」

「はあ、あっ…！ そんな男らしいところ見せられたら…んんつ！」

「もっと、好きになるじゃんかあ♡」

「んんつ！ ああつ！ ああう！ んつ！ ふ一つ！ ふ一つ！ んんつ！」

「あああ…！ イク…また…んんつ♡ イッちゃう…んんんんつ！」

「あああつ！ イックうううつ！ んんんあああつ！」

「はあ、はあ…んつ♡ はあ…♡」

「好き…だよ♡ 好き♡ 愛してるつ…♡」

「優しいあんたもつ…！ んう！ ふう、ふう…男らしいあんたも…つ♡」

「全部…んんつ！ 全部、好き♡ はあ、うつ…！ んんんつ！」

「はあ、はあ、えへへ…♡ 言つたら…もっと…気持ちよく、んつ、なつちやつた…つ！」

「んんうつ！ んつ！ ああつ！ あつ！ あつ！ んんんんんうつ…！ くううつ♡」

「はあ、はあ…んんつ！ もう、何度イッちゃつたか…わかんなくなつてしまつた♡ はあ、ふう…♡」

「お返し…！ しないと…ねえ♡」

「んちゅつ、ちゅう…！ ちゅぶ…ちゅうう♡」

「んあ…はあ、ふう…んちゅうう…れるれる、れろちゅう♡ んふう、んつ！ んんつ！」

「れるれる、れるれるれるれる、れるう～…ぶはあ♡」

「んつ♡ よーく、聞いて♡ はあ、ふう…大好き…♡ だーい好きっ♡」

「んちゅう、れるれる…れろ、ちゅう♡ 好き…♡ れちゅ、好きい♡」

「好き、好き…好き好き好き♡ んんつ♡」

「はあ、はあ…んつ、んつ…はあ、はあ…あうつ、ふう…」
「んう…んんんんつ♡ あはあ…はつ、はつ…ふうう♡」
「えへへ…♡ たくさん、んんつ…気持ち、伝えちゃった…♡」

「んんつ♡ あんたも…私の事、好き？ 愛してる？」
「じゃあさ…んつ♡ 体でき…たくさん、その気持ちい…はあ、はあ…教えてよ？」

「はあ、ふう…」
「スパートかけて…んんつ！ 中に沢山出してさつ…はあ、ふうつ…！」
「あんたの気持ち…んつ…教えて♡」
「ん…お願ひ…ね♡」

「んんつ！ きたつ♡ きたあ♡ ああつ！ んああつ！ あんつ！ ああんつ！」
「はあ、ふう、んんつ！ 激しいの…好き…♡ あんたにされるの…んつ！ ああつ！ 好きい♡」

「はあ、はあ…んんつ、ちゅつ♡ ちゅうう♡ あふうつ！ んちゅう、れるれる♡」
「んんう、はあ、んつ…イク…♡ んんつ、れるれる…んんんあつ♡ れるれるれる…」
「れるぷちゅう♡ んんつ、んう、はあつ！ はあつ！ れるれるれる…♡ れろちゅう♡」

「そろそろ…出る？ 出そう？ んんつ♡ はあ、れるれる…れろちゅう♡」
「いいよ…出して…♡ 中に全部う…♡ びゅーびゅーって…ふう、ふう…してえ♡」

「んう、ちゅつ♡ お願ひ…」

「はあ、はあ…あああつ！ あんつ！ んつ！ あああつ！」
「はあ、はあ…ああ、来る…今日一…でえ…大きいの…んんつ！ 来ちゃうつ♡」
「はつ、はつ、はあつ…んつ…んんつ！ あんたのも…んつ！ 大きく…なってえ…はあ！ んつ！」

「ああ、イク…イクつ…♡ んつ…んんつ！」
「イクイク…イクイクイク…んつ！」

「んんつ♡ んちゅ、れるれる…れるちゅむつ…んちゅう、ちゅぶう♡」

「はあ、イク…ちゅつ…んつ！ んんつ！ イキュイキュ…んう、ふううう～～～つ！」

「んふう♡ ふう…♡ んんんう♡ んふう♡ ふつ…ふうう♡」

「はあ、はあ…んつ♡ まだ、出てるつ♡ んんう…はあ、はあ…はうう～♡」

「ふう、ふう…んつ…はああ…♡」

「ありがと…♡ んつ…たくさん、出してくれて…♡」

「んつ…ちゅう♡ ちゅう、れるれる…れるちゅつ♡」

「ふう、ふう…ありがと…♡ んつ…愛を、教えてくれて…♡」

「んつ…ちゅううう♡ ぶふう…ふふつ♡」